

創造国語

第5回 謎解きセミナー

～「謎解き物語文」で変わる！明日からの国語の授業～



創造国語とは、茅野政徳(山梨大学准教授)が発起人となり、魅力的な国語科の授業を創造するために、公立、国立、私立の教員が東京、神奈川、山梨などの地域から集う研究会です。

とき・ところ

令和5年

8月26日(土)

8:30~12:30

対面&オンライン開催

【会場】

横浜国立大学教育学部
附属横浜小学校

シンポジウム

「国語科学習における『謎解き物語文』 の教材化の可能性

シンポジスト

青山 由紀先生

筑波大学附属小学校教諭



茅野 政徳

山梨大学准教授
本研究会発起人



8:30	8:45	9:30	10:30	11:10	11:45~12:25	12:30 閉会
受付	開会・趣旨説明 「謎解き物語文」って何？	公開授業	授業協議	ワークショップ	シンポジウム	
		2年1組 授業者 麻生 達也 (横国大附属横浜小)	協議会 司会 榎谷 孝徳 (相模原市立清新小)	【低学年】 『行動』や『会話文』等に注目する謎解き物語文を読みます。 担当：久保田 旬平 (早稲田実業初等部)	シンポジスト 青山 由紀 先生 (筑波大学附属小学校)	
		3年3組 授業者 曾根 朋之 (東京学芸大附属竹早小)	協議会 司会 青木 大和 (千葉大学附属小)	【中学年】 『性格』や『気持ち』等に注目する謎解き物語文を読みます。 担当：佐野 裕基 (平塚市立花水小)	茅野 政徳 (山梨大学准教授)	
5年1組 授業者 白川 治 (横国大附属横浜小)	協議会 司会 石川 和彦 (山梨大学附属小)	【高学年】 『人物像』や『相互関係』等に注目する物語文を読みます。 担当：森 壽彦 (川崎市立東小倉小)	コーディネーター 榎谷 孝徳 (相模原市立清新小)			

主催：創造国語

謎解き物語文とは…

麻生探偵の事件簿②「対決 麻生探偵と怪盗X」

最近購入した特性眼鏡の手入れをしていた麻生探偵のところに若梅警察の律が訪れた。

「こんにちは。若梅警察の律と言います。今朝、山手博物館に怪盗Xから予告状が届き、今日の十八時に、山手博物館所蔵の『黄金のクローバー』をいただくという予告がありました。ぜひ、捜査に協力してください」

怪盗Xというのは、博物館の宝を盗む大泥棒である。変装の名人で、怪盗Xの犯行がよくニュースになっている。麻生探偵は、『黄金のクローバー』を守るため、刑事と山手博物館に向かった。

博物館に着くと、シワ一つないスーツを着て、きれいに磨かれたくつをはいた男性が、深々と頭を下げて挨拶をした。

「初めまして、わたくしは、山手博物館の館長を務めております、黒葉と申します。この度は、お忙しいところ、わたくし共のために、ご協力くださり、誠にありがとうございます」

麻生探偵が挨拶をしようと思った瞬間、黒葉の横にいたクローバー柄のネクタイをした男性が早口で話し始めた。

「初めまして。私は副館長の白花と言います。どうか、怪盗Xから黄金のクローバーを守ってください」

白花は、ポケットからサツと名刺を取り出し、麻生探偵に手渡した。

「ご丁寧ありがとうございます。それでは、黄金のクローバーのある部屋に案内してもらえますか」

「はい、黄金のクローバーは、大広間にあります。どうぞ、こちらです」

大広間に向かってせかせかと歩いて行く黒羽の背中を麻生探偵たちは追いかけた。大広間には、世界中の植物をモチーフにした珍しい作品が展示されていた。黄金のクローバーは、広場の中央に厳重に保管され、神々しい光を放っていた。黄金のクローバーのあまりの美しさに麻生探偵は、心を奪われた。

「大変申し訳ございません。十七時から横浜の館長会議がございまして。司会の私が遅れるわけにはまいりませんので、一度失礼いたします。麻生探偵、何卒泥棒から黄金のクローバをお守りください。

白花さん、後はお願ひしますね。」

黒葉館長は、深々と頭を下げ、大広間の展示品の状態を。パッと確認してから、足早に大広間から出て行った。

「本当に丁寧で、きびきびとした方ですね」

「謎解き物語文」とは、犯人やトリックといった謎を文章中の言葉を手がかりに解き明かす物語文です。一般的な推理小説とは異なり、短い文章で構成されています。国語科の授業における「謎解き物語文」の教材的価値は、①読者参加型における学習意欲の喚起、②謎を解き明かすための論理的思考力の醸成、③登場人物の行動、気持ち、人物像、相互関係等の小学校国語科がはぐくむべき言葉に対する着眼力の涵養です。特に③の「国語科がはぐくむべき言葉に対する着眼力の育成」が特徴です。

掲載した「謎解き物語文」を読み、謎を解き明かしてみてください。おそらく、人物像（話し方や性格等）、呼称（泥棒や彼等）、会話文、行動等の言葉に着目するはず。このように、これまで小学校において用いられることの少なかった「謎解き物語文」を通して、国語科がはぐくむべき言葉に自然と立ち止まるようになるのです。「謎解き物語文」を通して、これからの国語科の授業を共に考え、楽しい授業を創っていきましょう！

申し込み 締め切り 令和5年8月25日(金)

下記の URL または QR コードから peatix の申し込み受付ページにアクセスし、必要事項を入力してください。その際、事前に資料代として**500円**をお支払いいただきます。

創造国語 第5回オンラインセミナーURL: <https://souzoukokugonazotoki.peatix.com>

【注意事項】

- ・登録するメールアドレスは、お間違のないよう、ご確認ください。
- ・資料、zoomの「URL」とパスワードを8月23日(水)にメールでお送りする予定です。
- ・協議会及びワークショップを円滑に進めるため、参加予定の学年の送付資料をご一読ください。
- ・今回のセミナーは記録として録画させていただきます。事前にご了承ください。
- ・定員300名になり次第、締め切りとさせていただきます。お早めにお申し込みください。



セミナー
お申込み
QRコード

【本セミナーへのお問い合わせ】

麻生 達也 (横浜国立大学教育学部附属横浜小学校)

Email: asou-tatsuya-zr@ynu.ac.jp

【創造国語へのお問い合わせ】

茅野 政徳 (山梨大学)

Email: mkayano@yamanashi.ac.jp